

③資料作成・公開に関する事業一覧

プロジェクト名	担当部門	頁
広報企画事業（情 03）	協力調整官—情報調整室	67
ホームページ及びデータベースの作成・管理（情 08）	情報調整室	68
黒田記念館における作品の展示公開 常設展（美 20）	美術部	71
黒田記念館における作品の展示公開 地方巡回展・所蔵作品の貸与（美 21）	美術部	72
資料閲覧室運営（情 04）	情報調整室	73
国際資料室の整備・公開・活用（セ 14）	国際文化財保存修復協力センター	74
伝統芸能の画像・音声・映像資料のデジタル化（芸 07）	芸能部	74
文化財保存に関する国際情報の収集及び研究—データベースの作成・公開—（セ 13）	国際文化財保存修復協力センター	75
システム管理（情 02）	情報調整室	76
画像情報室の運営・設備（*情 06、情 07）	情報調整室	77

*注 画像情報室の運営・設備は、画像資料の収集・整理（情 06）及び写真機材・設備（情 07）の二つの事業の成果を総合して報告した。

広報企画事業 (③情 03-03-3/5)

情報調整室では、各研究部門の研究成果を外部へ発信すべく東文研 NEWS・概要・年報を定期的に発行している。

1) 東文研 NEWS

年 4 号を編集。研究所の研究活動のうち、速報性と公共性の高い情報を記事にして伝えている。平成 15 年度は、下記にしたがって 4 号を刊行したほか、各号は、PDF ファイルに変換し、ホームページ上で公開している。

- No.13 2003 年 6 月 30 日発行 全 10 頁 記事 21 件 図版 20 件
- No.14 2003 年 9 月 30 日発行 全 8 頁 記事 16 件 図版 10 件
- No.15 2004 年 1 月 31 日発行 全 12 頁 記事 24 件 図版 20 件
- No.16 2004 年 3 月 31 日発行 全 12 頁 記事 26 件 図版 18 件

なお、東文研 NEWS の PDF 版を公開しているホームページでは、既刊 16 号の全てについて、各記事の見出しを掲載し、利用者の便を図った (<http://www.tobunken.go.jp/japanese/publication/news.html>)。



東文研 NEWS 第 16 号



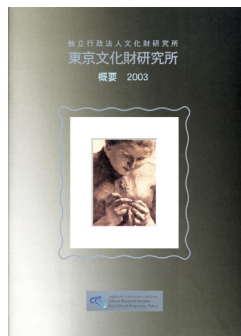
ホームページ上の東文研 NEWS

2) 概要

各年度のはじめに編集。研究所の組織の紹介や、各部ごとの当該年度のプロジェクトの紹介を、視覚的にわかりやすく、日英 2 カ国語で行っている。

3) 年報

各年度のはじめに編集。前年度の年次計画にもとづいたプロジェクト研究、科学研究費や受託研究による研究成果、その他、さまざまな研究会・研修等、研究所における全ての活動を網羅して報告し、自己点検評価・外部評価における基礎資料として活用できるよう編集している。また各年度の年報は PDF 形式でホームページ上でも公開している。



2003 年度概要 2003 年 5 月発行 全 33 頁



2002 年度年報 2003 年 5 月発行 全 254 頁

研究組織

○三浦 定俊 (協力調整官)、井手誠之輔、綿田 稔、中村 明子 (以上、情報調整室)

ホームページ及びデータベースの作成・管理 (③情 08-03-2/4)

ホームページの作成と運用

当研究所のホームページは広報の場であるとともに、文化財研究のための基礎資料を網羅し、さらにそれを有機的に関連づけるデジタル・アーカイブ構想の有力なメディアとして機能している。なかでも黒田記念館のページでは、記念館が所蔵する黒田清輝の作品の紹介だけでなく、日記・書簡・自筆文献・白馬会関係資料等の基礎資料を提供し、黒田清輝研究のための知的データベースとして、より機能と内容の充実を図っている。

なお、各部のページは、自主的に更新されている。芸能部のページでは、実演記録を動画で視聴できるほか、保存科学部・修復技術部・国際文化財保存修復協力センターが合同して刊行している『保存科学』や、情報調整室が編集する東文研 NEWS・年報が、いずれも PDF 版として公開されている。

平成 15 年度の更新履歴

日付	更新内容	部署
03.04.02	所蔵作品一覧リニューアル	黒田清輝記念館
03.04.11	事業報告更新	芸能部
03.04.18	グレー紀行リニューアル	黒田清輝記念館
03.05.10	研究プロジェクト更新	情報調整室
03.05.14	研究資料検索システム美術関係と漢書データベース更新	情報調整室
03.05.15	研究資料検索システム伝統芸能関係図書・保存修復関係図書外部公開開始	情報調整室
03.06.06	修復技術部出版 'Conservation of Japan's Aircraft'	修復技術部
03.06.06	芸能部夏期学術講座[能の特殊演出(小書)]要項	芸能部
03.06.11	文化財保護関連法令データベース更新	国際文化財保存修復協力センター
03.06.11	美術部日本語ページリニューアル	美術部
03.07.01	巡回展「近代日本洋画の巨匠黒田清輝展」のお知らせ	黒田清輝記念館
03.07.01	「東文研 NEWS」no.13 追加	情報調整室
03.07.14	第 27 回文化財の保存に関する国際研究集会	修復技術部
03.07.14	修復技術部ページリニューアル	修復技術部
03.07.18	年報 2002 年度追加	情報調整室
03.08.12	第 12 回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会 (03/08/27)	修復技術部
03.08.29	第 37 回オープンレクチャー (03/10/17)	美術部
03.10.08	第 13 回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「鉄道周辺施設の保存修復と活用」 (03/10/31)	修復技術部
03.10.10	10/10-12/31 ライトアップ	黒田清輝記念館
03.10.16	「東文研 NEWS」no.14 追加	情報調整室
03.10.28	10/28-11/3 特別公開	黒田清輝記念館
03.11.04	第 6 回民俗芸能研究協議会開催要項	芸能部
03.11.04	第 34 回公開学術講座のお知らせ	芸能部
03.11.14	研究会のご案内 (03/12/24)	美術部
03.12.17	バリアフリー化&グッズ販売のお知らせ	黒田清輝記念館
03.12.24	研究会のご案内 (04/01/20)	美術部
04.01.06	調査速報とシンポジウム：尾形光琳筆「紅白梅図屏風」の新知見 (04/02/14)	情報調整室
04.01.08	研究員の募集	美術部

日付	更新内容	部署
04.01.20	第14回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「ヨーク鉄道博物館における文化財保存修復の意義」(04/02/10)	修復技術部
04.01.20	研究員の募集	芸能部
04.01.26	研究会のご案内(04/02/17: 絵画史研究における日本と中国)	美術部
04.01.28	「東文研NEWS」no.15追加	情報調整室
04.02.09	非常勤職員の募集	管理部
04.02.18	研究員の募集	保存科学部
04.02.20	日韓共同研究・2003年度研究報告会(04/02/25)	修復技術部
04.02.27	中国壁画研究会のご案内(04/03/17)	美術部
04.03.05	巡回展(04/04/24-04/06/06 新潟県立近代美術館)	黒田清輝記念館
04.03.05	資料閲覧室:3月の休室(04/03/31)について	情報調整室
04.03.25	トップデザイン更新、近現代美術展覧会カタログデータベースの外部公開開始	情報調整室

平成15年度のホームページアクセス件数一覧

・4月 51,692件 ・5月 62,898件 ・6月 59,124件 ・7月 70,449件
 ・8月 49,459件 ・9月 55,303件 ・10月 61,245件 ・11月 61,859件
 ・12月 59,674件 ・1月 72,623件 ・2月 62,372件 ・3月 64,889件

年間アクセス総数:731,578件、平成14年度アクセス総数との対比 159,253件増加

公開データベースの作成と運用

東京文化財研究所では、情報調整室が中心となって各研究部が作成する研究情報を統合し、所内および外部での利用に供している。

〈内部公開データベース〉

内部公開データベースとは、所内のイントラネット上にサーバーを立て、ネットワーク上の端末上から検索するデータベースを指す。平成11年度以来、日常的に運用しており、適宜、データベースの種類が増加とデータの更新をはかっている。なお、資料閲覧室における閲覧請求は、内部公開データベースを利用している。

現在稼働中の内部公開データベース

- ・定期刊行物所載古美術文献データベース
- ・定期刊行物所載近現代美術文献データベース(平成13年5月より運用中)
- ・美術関係和漢書データベース
- ・伝統芸能関係図書データベース(平成14年10月より運用開始)
- ・保存修復関係図書データベース(平成14年10月より運用開始)
- ・古美術展覧会カタログデータベース
- ・売立目録データベース
- ・近現代美術展覧会開催情報データベース(平成13年5月より運用中)
- ・『保存科学』所載文献データベース(平成14年10月より運用開始)
- ・近現代美術展覧会カタログデータベース(平成16年1月より運用開始)
- ・『謡曲界』所載文献データベース(平成16年1月より運用開始)
- ・『能楽画報』所載文献データベース(平成16年1月より運用開始)
- ・『幕間』所載文献データベース(平成16年1月より運用開始)
- ・所蔵写真データベース(画像データベース)(平成13年11月より試験運用中)

※ 写真管理検索システムは、写真室運営費(情06-01-1/5)の一環として平成13年度に作成し、平成14年度には、一部プログラムを修正し、データ登録作業の汎用的な運用について協議を重ねたが、本年度は、試験運用を開始し、登録画像の作成約18,000件を行った。

③資料作成・公開 Area17,20,21

〈外部公開データベース〉

外部公開データベースとは、インターネットを通じて、外部からの検索を可能とするものを指している。東京文化財研究所で作成する共用データベースは、まず所内のイントラネット上で運用し、その運用実績を確認したことから、適宜、インターネットを通して、外部へ公開するという手順を踏んでいる。このような手順を踏むことで、1) 内部公開の運用実績を通して、外部公開の前に、内部的な運用評価を経ることができ、2) 内部公開データベースのデータは外部公開データベースに何らかの支障が発生した場合のバックアップともなる。画像データベースのような他機関・個人の所蔵資料を含む内部公開データベースは、現在のところ所蔵者との関係から外部公開していない。なお、本プロジェクトについては『デジタルアーカイブ白書 2004』において事例報告を行った。

現在稼働中の外部公開データベース (<http://archives.tobunken.go.jp>)

- ・美術関係と漢書データベース (平成 14 年 3 月から運用中)
- ・売立目録データベース (平成 14 年 3 月から運用中)
- ・近現代美術展覧会情報データベース (平成 15 年 3 月から試験運用中)
- ・伝統芸能関係図書データベース (平成 15 年 5 月から運用開始)
- ・保存修復関係図書データベース (平成 15 年 5 月から運用開始)
- ・近現代美術展覧会カタログデータベース (平成 16 年 3 月から運用開始)

黒田清輝関係資料は、ホームページ上で文字テキスト・作品画像等を網羅的に公開している (<http://www.tobunken.go.jp/kuroda/index.html>)。

外部公開データベースの平成 15 年度アクセス状況

・ 4 月 1,826 件	・ 5 月 11,629 件	・ 6 月 12,875 件	・ 7 月 10,923 件
・ 8 月 7,879 件	・ 9 月 7,781 件	・ 10 月 10,616 件	・ 11 月 9,637 件
・ 12 月 8,305 件	・ 1 月 10,154 件	・ 2 月 5,220 件 (19 日間)	・ 3 月 9,074 件

年間アクセス総数：105,919 件、平成 14 年度アクセス総数との対比 90,627 件増加

2 月のアクセス件数については、サーバー容量の関係から正確なアクセス件数は 19 日間のみが把握可能であった。あとの 10 日間のアクセス件数データはログに記録されていないため、不詳。

研究組織

○井手誠之輔、綿田 稔、中村 節子、中村 明子 (以上、情報調整室)

Independent Administrative Institution
National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo
独立行政法人文化財研究所 東京文化財研究所

研究資料データベース検索システム

所蔵資料の検索

- ◆ 美術関係と漢書データベース
- ◆ 伝統芸能関係図書データベース
- ◆ 保存修復関係図書データベース
- ◆ 売立目録データベース
- ◆ 近現代美術展覧会カタログデータベース
- ◆ 古美術展覧会カタログデータベース(工事中)

情報・文庫の検索

- ◆ 近現代美術展覧会情報データベース(試験運用版)
- ◆ 定期刊行物所蔵 近現代美術文庫データベース(工事中)

更新履歴・データベースの内容等に関する問合せ

東文研Top

Last update: 2004.03.25
作成:情報調整室(Archives Section)

研究資料検索システムのトップページ

黒田記念館における作品の展示公開 常設展 (③美 20-03-3/5)

黒田記念室は、当研究所の創設に深く関わった帝国美術院長子爵黒田清輝の功績を記念するために設けられた陳列室であり、黒田清輝の油彩画、素描、写生帖等を収蔵公開している。

創立当時、主として黒田家から寄贈されたものは、油彩画 125 点、素描 170 点、写生帖等であるが、その後黒田照子夫人、樺山愛輔、田中良氏等からの寄贈が加わった。収蔵品の主なものは、「湖畔」「智・感・情」(以上 2 作品は、国指定重要文化財)「花野」「赤髪の少女」「もるる日影」「温室花壇」などである。

2001 年 1 月より、2 階部分の改修工事が行われ、従来の黒田記念室に加え、会議等に使用していた陳列室も展示室に改修、2 室がギャラリーとなり、黒田清輝の作品を約 50 点展示することができるようになった。また、旧美術研究所所長室も、公開のスペースに改め、美術研究所時代の写真を展示し、パーソナルコンピューターを設置し、来館者にホームページを見ていただくコーナーとして活用するようにした。2002 年 9 月からは、それまでの木曜日にくわえ土曜日も公開している。

平成 15 年度は 7 月から 9 月にかけて改修工事を行い、リフトやエレベーターの設置により施設のバリアフリー化をはかった。また 10 月から記念館 1 階に黒田清輝作品の絵はがきや図録、額絵等、記念館のグッズを委託販売するコーナーを設けた。

一般公開 (無料) 毎週木・土曜日 午後 1 時～4 時

特別公開 2003 (平成 15) 年 10 月 28 日～11 月 3 日

入場者数 13,768 人 (2003 年 5 月 1 日から 2004 年 3 月 27 日まで)

なお、黒田記念室のパンフレット (A4 サイズ、三つ折) を作成し、来館者に無料で配布した。

また、2003 年 9 月 18 日から 2004 年 3 月 27 日まで、来館者にアンケートを実施した。10,016 人の来館者に対して、749 人から回答を得た (来館者数の 7%)。回答は、「満足した」408 人 (54%)、「勉強になった」185 人 (25%)、「感動した」201 人 (27%)、「わかりやすかった」84 人 (11%)、「もの足りなかった」26 人 (3%)、その他 10 人 (1%) であり、アンケート回答の 95%が満足感を得たことになる。

研究組織

○田中 淳、塩谷 純 (以上、美術部)



黒田記念館2階 新たにギャラリーになった旧陳列室 撮影:城野誠治

黒田記念館における作品の展示公開 地方巡回展・所蔵作品の貸与 (③美 21-03-3/5)

黒田清輝の作品を多数所蔵している当研究所は、黒田清輝の功績を記念し、あわせて地方文化の振興に資するために、昭和 52 年からの事業として「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝」展を年 1 回地方において行ってきた。平成 15 年度は下記のように開催した。

会 場：和歌山県立近代美術館

会 期：2003（平成 15）年 7 月 19 日（土）～8 月 31 日（日）

主 催：和歌山県立近代美術館

開催日数：40 日

入 場 者：16,441 人

陳列点数：油彩・パステル画 85 点、素描 62 点、写生帖 17 冊、書簡 4 通、日記 5 冊、参考出品 2 点、記録写真 16 点（以上、黒田記念館所蔵作品）、その他油彩画 1 点、書簡 1 通を特別出品した。

図 録：A4 版変形、182 ページ

図録については、出品数の増加に伴い、油彩と素描を編年的に交えた 4 部構成とし、図版もフルカラーにするなど従来のものを大幅に改訂した。

なお、会期中、来館者にアンケートを実施し、133 人から回答を得た。

「満足した」94 人（71%）、「勉強になった」47 人（35%）、「感動した」35 人（26%）、「また来たい」31 人（23%）、「物足りなかった」2 人（2%）という結果（複数回答可）であり、回答者の 98%から好印象を得たことがわかる。

本年度の所蔵作品の貸与は下記の通りであった。（4 件 13 点貸与）

- ・「もうひとつの明治美術」展

会場：静岡県立美術館、府中市美術館、長野県信濃美術館、岡山県立美術館

会期：2003（平成 15）年 7 月 15 日～2004（平成 16）年 2 月 1 日

作品：満谷国四郎「不同舎時代習作」8 点（素描）

- ・「中村彝の全貌」展

会場：茨城県近代美術館、愛媛県美術館、愛知県美術館

会期：2003（平成 15）年 9 月 20 日～2004（平成 16）年 2 月 29 日

作品：中村彝「血を吐く男」（パステル画）

- ・「高村光太郎と智恵子の世界」展

会場：富山県水墨美術館、メナード美術館

会期：2003（平成 15）年 10 月 3 日～12 月 14 日

作品：高村光太郎「黒田清輝像」（ブロンズ像）

- ・「近代洋画の開拓者たち」展

会場：佐賀県立美術館

会期：2003（平成 15）年 10 月 24 日～11 月 24 日

作品：黒田清輝「編物」（油彩画）、同「昼寝」（油彩画）、同「昔語り（舞妓）」（油彩画）

研究組織

○田中 淳、塩谷 純（以上、美術部）

資料閲覧室運営 (③情 04-03-3/5)

資料閲覧室は、研究所が所蔵する文化財関係資料のなかで情報調整室が管理する各種図書資料・写真資料等を、文化財関係研究者・大学院生をはじめ一般の方々へ広く公開している。公開日は、祝日・年末年始(12/25～1/7)を除く、毎週月・水・金(10:00～16:30)である。公開日情報はホームページ上でも提供している。

資料閲覧室に管理委託される購入及び寄贈図書資料は、その目録作成作業をネットワーク上のリレーショナルデータベースシステムで一元的に管理し、日常的にデータ入力作業を継続・更新している。また公開データは、一部、イントラネットシステムを活用して閲覧者の利用に供している。現在、図書・雑誌・展覧会カタログ等の目録データは、5年計画のもとで、適宜、原本照合を進め、冊子体の目録発行を行っているが、これまでに発行した蔵書目録3冊は閲覧室で利用者の検索用に提供している。また公開可能なデータはイントラネット上での運用評価を経た後に、適宜、インターネットを通して外部に提供している。

資料閲覧室にて作成・更新中の目録データベース (30種)

- ・所蔵和漢書データベース (2002年度まで)
- ・所蔵洋書データベース
- ・売立目録データベース
- ・和雑誌誌名データベース
- ・所蔵中国雑誌誌名データベース
- ・所蔵和雑誌巻号データベース (2000年まで)
- ・所蔵和雑誌巻号データベース (2001年以降)
- ・所蔵中国雑誌巻号データベース
- ・所蔵地方公共団体刊行報告書データベース
- ・所蔵古美術展覧会データベース (2000年まで)
- ・所蔵近現代美術展覧会図録データベース (1944年まで)
- ・所蔵近現代美術展覧会図録データベース (1945～98年)
- ・所蔵近現代美術展覧会図録データベース (1999年以降)
- ・近現代展覧会開催情報データベース (1944～96年)
- ・美術館博物館名データベース
- ・受入和漢書データベース (2003年度分)
- ・所蔵簡易図書データベース
- ・所蔵美術館博物館収蔵目録データベース
- ・所蔵洋雑誌誌名データベース
- ・所蔵韓国雑誌誌名データベース
- ・所蔵洋雑誌巻号データベース (1985年まで)
- ・所蔵洋雑誌巻号データベース (1986年以降)
- ・所蔵韓国雑誌巻号データベース
- ・所蔵香取秀真資料関係データベース
- ・所蔵古美術展覧会図録データベース (2001年以降)
- ・近現代作家名データベース
- ・写真原板データベース
- ・キャビネット写真データベース
- ・古美術文献目録データベース (明治～1965年)
- ・近現代美術文献目録データベース (1959～1990年)

目録所在情報に関する平成15年度の実績

目録所在情報の種類	30種
目録所在情報作成件数	249,694件
目録所在情報収録件数	558,983件
イントラネットで公開中の目録累計数	13種 (他部作成分を含む)
目録所在情報公開件数	352,019件 (他部作成分を含む)

平成15年度における閲覧資料室の利用状況 (但し、所内閲覧者を除く外部閲覧者)

・4月	50人	・5月	36人	・6月	60人	・7月	57人
・8月	53人	・9月	80人	・10月	81人	・11月	65人
・12月	62人	・1月	35人	・2月	52人	・3月	63人
年間合計	694人	平成14年度の利用者数との対比	12人増				

研究組織

○井手誠之輔、綿田 稔、中村 節子 (以上、情報調整室)

国際資料室の整備・公開・活用 (③セ 14-03-3/5)

目 的

本プロジェクトは、国際文化財保存修復協力センターの国際資料室に配置する外国の文化財や文化財保存修復事業に関する蔵書・資料を充実させ、国際文化財保存修復協力センターでの関連の研究や事業に利用するとともに、国内外の関連分野の専門家が閲覧・利用できるようにする。同時に、資料のデータベース化を行い、利用者の便を図る。

成 果

資料の充実：

1) 外国の文化財や文化財保存の現状および理念、2) 文化財保存関連機関、3) 文化財保護制度、4) 日本および諸外国の文化財保護関連法令、5) 各種文化論などの分野について、書籍や映像資料、デジタルデータの購入、資料交換などによる入手を行い、資料室の充実を図った。また、昨年度に引き続き千原大五郎氏旧蔵資料の整理を行い、日本の文化財保護行政および国際協力に関する資料が利用できるようにした。加えて、野口英雄氏所蔵のユネスコ関連の資料を受け入れ、整理を開始した。さらに、文化財保護関連法令資料の収集・整理（データベース化）が行われている。

資料目録の作成：

国際文化財保存修復協力センター独自の分類コードにもとづき、Microsoft Access により資料の名称、出版年、分類コード等基礎データの入力・データベース化の作業を行った。今年度入力が完了した 600 点余りのデータは、『国際資料室所蔵資料目録』として出版した。

研究組織

○二神 葉子、稲葉 信子、秋山 純子、平賀あまな（以上、国際文化財保存修復協力センター）

伝統芸能の画像・音声・映像資料のデジタル化 (③芸 07-03-3/5)

目 的

芸能部では、文献資料のほかに、音声・画像資料を積極的に収集してきた。上演とともに瞬時に消え去る運命にある芸能を研究するために、これらの記録は極めて貴重であるが、記録メディアの進展に伴って、より好環境のもとに保存してゆく必要がある。このために芸能部では、画像・音声・映像資料のデジタル化の推進を計画している。

成 果

本年は、特に劣化の進みやすいオープンリール・テープに残された音声資料のデジタル化を進めた。声明、民俗芸能、歌舞伎等を中心に、劣化を防ぐための媒体変換を重点的に推進した。また、寄贈資料の公開にむけて整理を進め、極めて稀少な私家版音盤等を調査した。

研究組織

○宮田 繁幸、鎌倉 恵子、高桑いづみ、児玉 竜一、
俵木 悟、松村智郁子（以上、芸能部）

左: SPLコードに記録された、過去の演奏
右: オープンリール・テープに録音された音源



文化財保存に関する国際情報の収集及び研究—データベースの作成・公開— (③セ 13-03-3/5)

目 的

本プロジェクトは、国際文化財保存修復協力センターで実施するさまざまな調査・研究により得られた情報を、空間データベースとしてインターネットを通じて広く公開し、文化財保存国際協力に役立てることを目的とする。

成 果

空間データベースの構築：

昨年度に引き続き、東南アジア地域（タイ、カンボジア、ベトナム）において、デジタルカメラと GPS 受信機を用いて調査地点の位置情報および時間情報、画像情報を取得した。これらの情報を、位置情報を与えたタイの官製地図の画像および電子地図と組み合わせたデータベース上に登録し、情報の充実を図った。また、アフガニスタン・バーミヤーン周辺など地図が整備されていない地域について、衛星画像を用いた地図作製の作業を継続して行っている。

・旧千原大五郎氏所蔵書籍等資料の整理・データベース化

千原大五郎氏（1916－1997）は、1972 年にインドネシアにある仏教遺跡ボロブドゥールの修復に修復工事技術諮問委員として参加するなど、最初期から日本の文化財保存国際協力活動に携わってきた専門家の一人であった。2002 年 5 月に、千原氏が収集してきた国際関係資料が東京文化財研究所に寄贈された。その資料は、書籍、雑誌、写真など多岐にわたる。特に、ボロブドゥール修復事業に関する資料は、事業の計画段階からの会議録、書簡類、修復案、図面など豊富であり、今後の研究により事業の詳細な内容などについて明らかにすることが可能である。これらの資料のうち、昨年度目録を作成した書籍・雑誌を除く、修復現場の写真や図面などの資料について、国際文化財保存修復協力センターにおいて分類・基礎データの入力を行い、「千原大五郎資料目録（写真・論文・図面編）」として出版した。

・野口英雄氏所蔵ユネスコ関連資料の受入

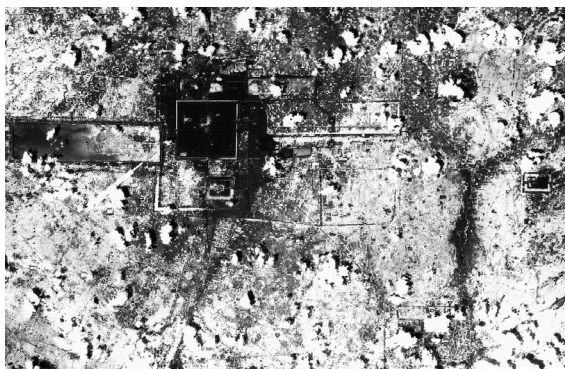
本研究所客員研究員・都留文科大学教授の野口英雄氏所蔵のユネスコ関連資料2411点を受け入れた。本資料は野口氏がユネスコに勤務していた1984年～2000年に収集されたもので、ユネスコの文化財保護国際協力事業の内容を知る上で有益である。来年度以降、分類・データベース化を実施する。

・各国の文化財情報の収集

ユネスコ本部（パリ）、フランスでの世界遺産会議出席、関連諸機関でのインタビューを通じて文化財保護に関する情報を収集した。

研究組織

○二神 葉子、稲葉 信子、平賀あまな（以上、国際文化財保存修復協力センター）、井上 敏（調査員）



コロナ衛星による画像（カンボジア・アンコール遺跡付近）

（©U. S. Geological Survey ）

システム管理 (③情 02-03-3/5)

東京文化財研究所のネットワークシステムは、平成 12 年度に導入し、順調に稼働している。所内ネットワークは、3階の LAN 機械室と各フロアにそれぞれ 1GB スイッチングハブを設置し、その間のバックボーンに 1GB/s 高速光軸ケーブル (SMF ケーブル) を配線している。各フロアのスイッチングハブと研究室・居室等の間は、100MB/s の光軸ケーブルで連絡し、研究活動及び日常業務が遅滞なく円滑に遂行できる環境にある。

外部との間には Firewall を構築し、外部からの不正アクセス・ウイルス感染等に対処している。

所内システムの運用については、システム管理者を情報調整室長が担当し、各部・センターから選出された委員とともに LAN 委員会を構成し、新規メールアドレスの所得やシステム全体の日常的な運用・中長期的な更新計画、保守契約等について協議している。

なお、計画年度 3 年目を終了するにあたり、4 年目以降のシステム環境の効率化を目指し、システム環境の見直しを開始している。既存システムの中で、外部 NEWS サーバー及びドメインコントローラサーバーを廃止することにし、また所外とのアクセスを既存の 1.5MB の光専用回線から 100MB の光専用回線へと改善すべく準備を進めている。

ネットワーク上のサーバーシステム一覧

- ・外部 DNS/Mail/WWW サーバー
- ・外部 NEWS サーバー (平成 16 年度より廃止)
- ・内部 DNS/Mail サーバー
- ・内部 DNS/File/Group Ware サーバー
- ・代理要求サーバー
- ・ドメインコントローラサーバー (平成 16 年度より廃止)
- ・DHCP サーバー
- ・ファイヤーウォールサーバー
- ・外部データ交換用 FTP サーバー
- ・Map 情報公開用 WWW サーバー
- ・データ公開用代理要求サーバー

ほかにイントラネット上で運用する画像サーバー、データベースサーバー、所内スケジュール管理用サーバー等がある。

研究組織

○井手誠之輔 (システム管理者、情報調整室)、篠原 和宏 (管理部 LAN 委員)、綿田 稔 (情報調整室 LAN 委員)、津田 徹英 (美術部 LAN 委員)、俵木 悟 (芸能部 LAN 委員)、石崎 武志 (保存科学部 LAN 委員)、森井 順之 (修復技術部 LAN 委員)、二神 葉子 (国際文化財保存修復協力センター LAN 委員)



LAN 機械室のサーバー群

画像情報室の運営・設備 (③情 06-03-3/5、③情 07-03-3/5)

画像情報室では、各研究部門の要請にしたがって、文化財の研究に必要な画像を形成している。画像情報室の日常業務は、画像資料の収集・整理 (③情 06)、撮影機材、写場の設備等については、写真機材・設備 (③情 07) の2つのプロジェクトを主体とし、適宜、他部のプロジェクトの協力を仰ぎながら、常時、最新の技術開発に即応できる体制を維持している。

計画年度の3年目にあたり、撮影から画像処理、画像データベースに至るルーチーンのひとつは、すでにデジタルに移行した。しかしながら、日進月歩の技術革新にともない、入力系から処理系のデジタルデータも大容量化しており、最先端の文化財研究のためには、継続的な機器や設備の更新を、弾力的に進めていく必要がある。画像データは、大容量化にともない、従来のCD-ROMからDVD-ROMへ移行しているが、数ギガ単位の高精細デジタルコンテンツは、DVD-ROMに記録保存する容量をはるかに超えつつあり、当面は、大容量のハードディスクに蓄積していきたい。なお、画像資料の作成・整理の基本的な理念である画像情報の共有化という観点から、大容量化する高精細デジタルコンテンツについても、新たな情報公開の原則と方針を検討すべき段階を迎えつつあり、次年度以降、具体的な事例とあわせて協議していきたい。

画像資料の作成・整理については、データ管理の基本であった既存の写真原板台帳に代わるべく、すでに画像データベース(写真管理検索システム)を構築し、試験的に運用している。今年度は、写真原板台帳から複写を作成してデータベースへの登録画像を作成し、カラーポジ約8,000件、モノクロフィルム(4×5)約10,000件の作業を完了した。

現有の主な写真機材は以下の通りである。

(1) カメラ及びレンズ

デジタル入力機材						
No.	品目	用途	製品名	S/N	生産国	備考
1	Camera	デジタルフルカラー撮影用	sinar P3	12901	Switzerland	デジタル撮影用
2	DigitalBack		Sinar m	45.1126	Switzerland	デジタル撮影用
3			sinar DigitalBack 54HR	26.1292.54	Switzerland	デジタルフルカラー撮影用
4	Lens		sinaron digital 1: 2.8 f=28mm	14797219	Germany	デジタルフルカラー撮影用
5			sinaron digital HR 1: 4 f=35mm	11649441	Germany	デジタルフルカラー撮影用
6			sinaron digital HR 1: 4 f=100mm	11639635	Germany	デジタルフルカラー撮影用
7			sinaron digital HR 1: 4 f=60mm	11636175	Germany	デジタルフルカラー撮影用
8	DigitalBack	近赤外線撮影 ／蛍光撮影用	sinar DigitalBack 44HR	8101 44	Switzerland	近赤外線撮影 / 蛍光撮影用
11	Camera	デジタル撮影用	Canon EOS-1Ds	107441	Japan	黒田清輝書簡デジタルコンテンツ資料作成用
12	Lens		Canon Compact-Macro Lens EF 50mm 1: 2.5	267045	Japan	黒田清輝書簡デジタルコンテンツ資料作成用

アナログ入力機材						
1	Camera	35mm用	Nikon F100	2045439	Japan	35mm 用カメラ
2	Lens		NikonAF MICRO NIKKOR 60mm 1:2.8 D	3094053	Japan	35mm 用 近接撮影レンズ
3			Nikon Medical-NIKKOR Auto 1:5.6 f=200mm	121297	Japan	35mm 用 近接撮影レンズ
4			Nikon AF NIKKOR 28-200mm 1: 3.5-5.6 D	257141	Japan	35mm 用 ZOOMレンズ
5			Canon Compact-Macro Lens EF 50mm 1: 2.5	267045	Japan	35mm 用 近接撮影レンズ
6	Camera	645 用	CONTAX 645	002891	Japan	スタジオ用カメラ
7	Lens		CONTAX Apo-Makro-Planar 4/120 T* Carl Zeiss	8798941	Japan	スタジオ用
8	Camera	4×5 インチ用	sinar P2	50050	Switzerland	4×5 インチ用カメラ
9			Linhof Technika	C511117	Germany	4×5 インチ用カメラ(屋外用)
10	Lens		Nikon NIKKOR-AM*ED 120mm 1: 5.6	200371	Japan	4×5 インチ用 近接撮影レンズ
11			Nikon NIKKOR-AM*ED 210mm 1: 5.6	300165	Japan	4×5 インチ用 近接撮影レンズ
12			Schneider-KREUZNACH SUPER-ANGULON 5.6/90XL-110° MULTICOATING	14608751	Germany	4×5 インチ用 広角レンズ
13			Schneider-KREUZNACH SUPER-ANGULON 1:8/90°	12468813	West Germany	4×5 インチ用 広角レンズ
14			Schneider-KREUZNACH APO-SYMMAR 5.6/210 MULTICOATING	14661032	Germany	4×5 インチ用 標準レンズ
15			Schneider-KREUZNACH APO-SYMMAR 1: 5.6/150 1:12/265	11332779	Germany	4×5 インチ用 標準レンズ
16			Schneider-KREUZNACH APO-SYMMAR 5.6/150 MULTICOATING	14682447	Germany	4×5 インチ用 標準レンズ
17			Camera	8×10 インチ用	TOYO -VIEW	119-1000239
18	Lens		Schneider-KREUZNACH APO-SYMMAR 5.6/300 MULTICOATING	14662849	Germany	8×10 インチ用標準レンズ

照明機材 (Broncolor 社製)

No.	品目	用途	製品名	S/N	生産国	備考	
1	Generator	スタジオ使用	grafit A2	200757	Switzerland		
2				200758	Switzerland		
3				200759	Switzerland		
4				primo4	180342	Switzerland	
5					180343	Switzerland	
6			海外用(屋外)	grafit A4	F064792	Switzerland	
7	Generator	海外用(屋外)	grafit A4	F064794	Switzerland		
8				TopasA4		Switzerland	
9				mobile		Switzerland	
10	Light Head	海外用(屋外)	primo	184487	Switzerland		
12				184491	Switzerland		
13				184494	Switzerland		
14				184495	Switzerland		

③資料作成・公開 Area21

15		スタジオ使用		D035839	Switzerland		
16				D035841	Switzerland		
17				D035842	Switzerland		
18				PULSO F4	177090	Switzerland	
19					177436	Switzerland	
20				PULSO G	F112407	Switzerland	
		F112417					
21		屋外使用	picolite	180142	Switzerland		
22				180143	Switzerland		
23				191045	Switzerland		
24	C121823			Switzerland			

特殊光源装置 (ROFIN 社製)

No.	品目	用途	製品名	S/N	生産国	備考
1	ポリライト	蛍光撮影用	ROFIN POLILIGHT PL500	1328	Australia	
2				1364	Australia	

研究組織

○井手誠之輔、綿田 稔、城野 誠治 (以上、情報調整室)